

避難情報について

自らの命、家族の命を守るために！
適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ
①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- 防災マップを見て、災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等によく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 最寄りの避難所（3ページ）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ステップ
②

行政機関から提供される防災情報について確認しましょう。

警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

5段階レベルを用いた防災情報

水害・土砂災害については、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報が、下記の通り5段階に整理されました。避難情報が発令されたら、9～16ページのハザード情報を参考に、すぐ避難しましょう！

警戒レベル	状況	住民に求める行動	避難情報	防災気象情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※2 町が発令	大雨特別警報 氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 町が発令	土砂災害 警戒情報 氾濫危険情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※3	高齢者等避難 町が発令	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	——	大雨・洪水・ 高潮注意報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	——	早期注意情報

※1 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※2 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も、必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



大雨または洪水に関する

警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう



「避難」とは「難」を「避」けることです

安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません

避難指示が発令されても必ず避難所に行く必要はありません。



避難先は小中学校・公共施設だけではありません

安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

避難行動とは指定避難所に行くことだけでなく、自分の身を守る行動のことです。

命を守るために情報の収集に努めてください

避難情報や防災気象情報は、町や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネットなどから発信される情報の収集に努めましょう。



洪水